

ご利用者の声

橋波アグリサンシャイン（島根県出雲市）



非常に抑草効果がありました

アイガモロボを導入した圃場では、非常に抑草効果があったと考えています。ただし、導入初期に上手く動作しなかったり曇りの日が続いて止まってしまうことがあり、期間中に除草機を一回入れています。そのため100%アイガモロボだけの効果かどうかは分かりませんが、周りの圃場と比較しても非常に抑草効果があったと感じています。

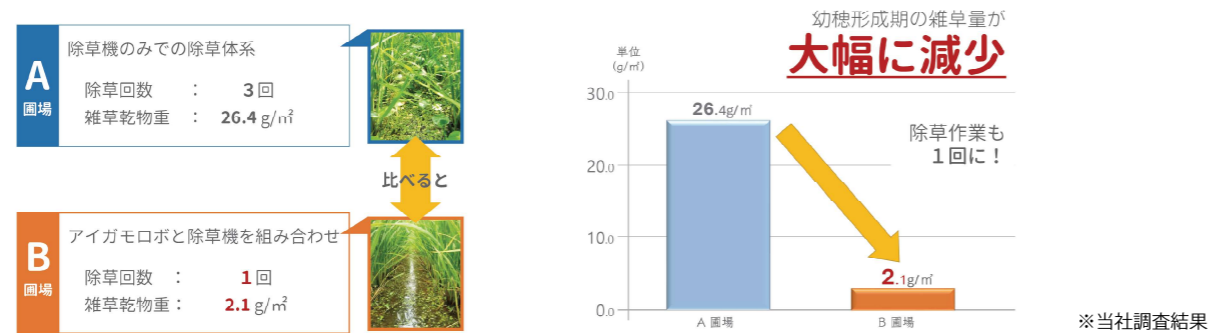
アイガモロボを入れた圃場は雑草が少ないように思います。そのため、雑草に邪魔されて生育が滞ったりすることがありませんでした。稲が元気に立派に育っていると思います。結果として、他の圃場と比べて実も多く入っていると感じます。

Amoniにて
ご利用者の声を配信中！



雑草の量が 1/10 以下に

隣接する30aの有機栽培きぬむすめ圃場で栽培期間中の除草回数と幼穂形成期の雑草量を比較し、アイガモロボの効果をチェックしました。



ほしの農園（新潟県新潟市）



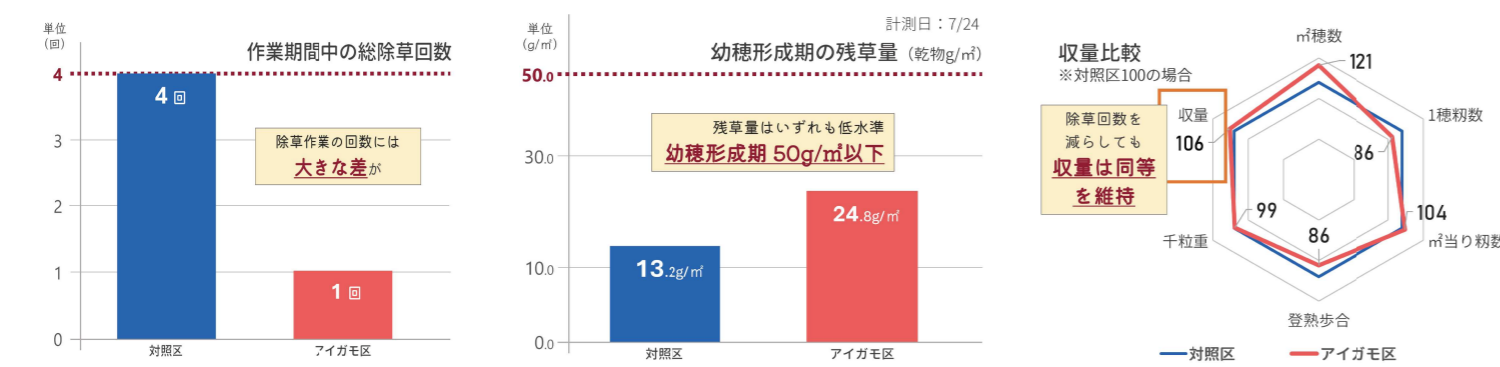
除草作業時間が大幅に短縮しました。

アイガモロボを使用した圃場では除草作業が非常に少なくすんだので、大変助かりました。例年は機械除草を3~4回行っているのですが、この圃場はロボを引き上げてから一週間後に中耕カルチの除草1回ですんでいます。アイガモロボを使用した圃場の隣で例年通りの除草作業を行った圃場と比べてみると、場所にもよりますが、雑草の量はアイガモロボを導入した圃場の方が若干少ないように感じます。

新潟市農業SDGs協議会での実証試験結果

自然栽培で亀の尾を栽培している約40aの隣接する2つの圃場を試験区とし、片方の圃場でアイガモロボを使用（アイガモ区）、もう片方ではロボを使用せず除草機のみで除草する体系（対照区）で栽培しました。検証においては新潟県農業普及指導センターに協力いただき、幼穂形成期の残草量と収穫量の現地調査を実施。残草量は新潟県農業総合研究所の指導のもと乾物重で「50g/m²」を基準とし、収穫量はロボを使用していない対照区を「100」として比較。また、除草回数と作業時間は営農支援ツール「アグリノート」に記録したデータを集計しています。

実績は以下の通り、アイガモロボを使用した圃場では< 1回の除草作業のみで残草量は基準値以内に収まり収穫量も同等>という結果になりました。

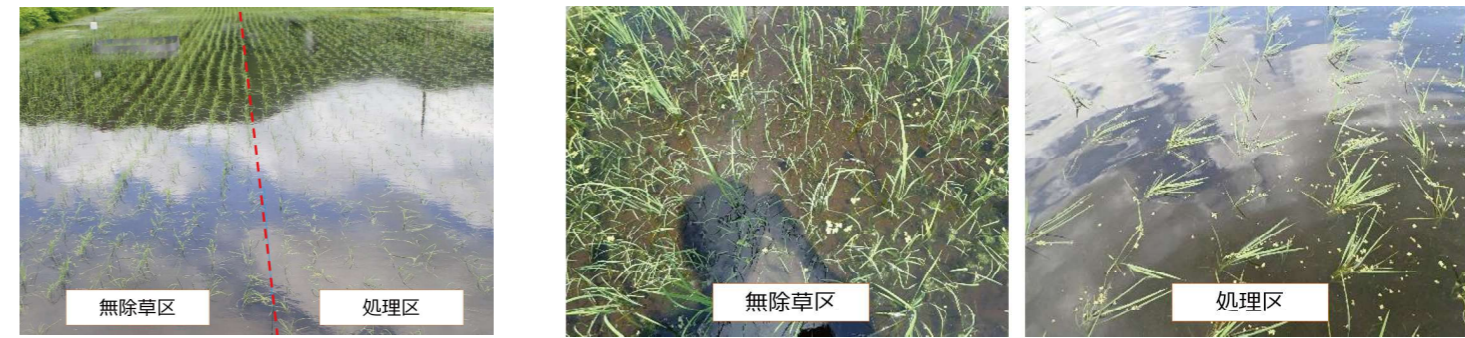


農研機構による研究結果 日本雑草学会第62回大会(2023年3月)

アイガモロボ導入による雑草抑制効果を定量的に評価する目的の下、農研機構・西日本農業研究センターにより実証試験が行われました。

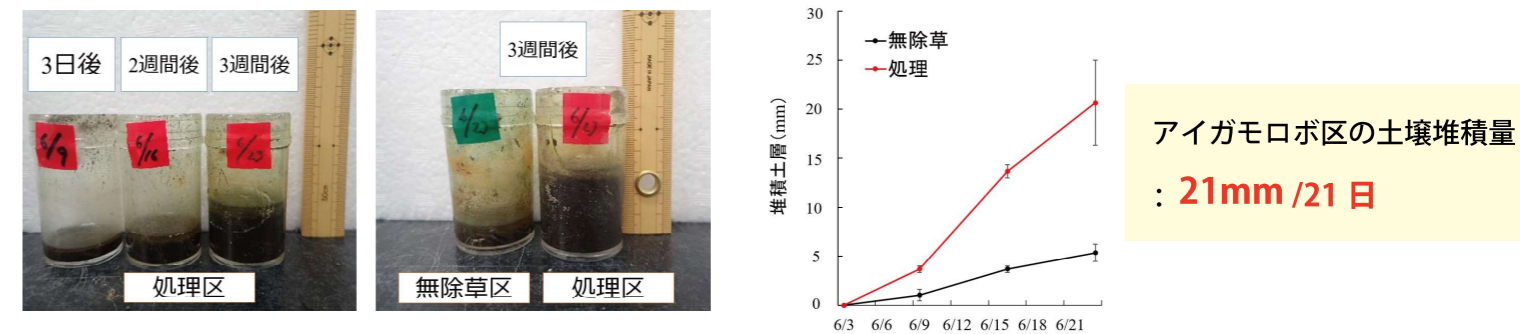
試験概要 品種：コシヒカリ 圃場：有機水稻生産者圃場（広島県神石郡神石高原町）

●ロボ引き上げ時の様子（田植え21日後）



・アイガモロボ処理区で雑草の発生は少ない

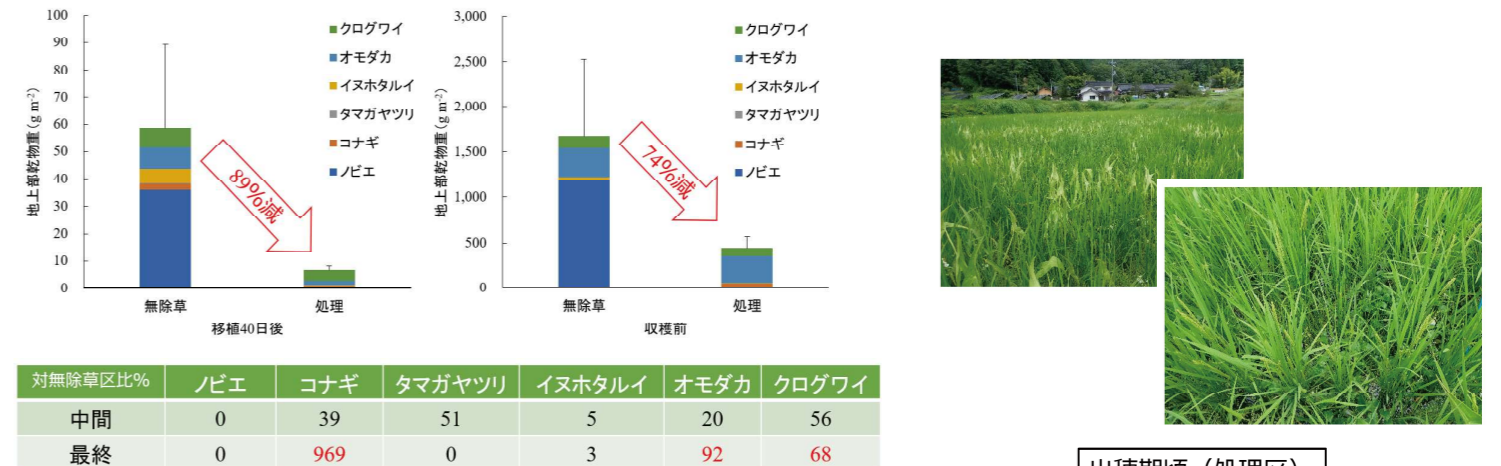
●アイガモロボ走行後の土壌堆積量



・アイガモロボの走行による土壌堆積量はイトミミズの活動による土壌堆積量※と同程度であった

※イトミミズ（ユリミミズ）による雑草種子埋没効果（古川ら2009）：土壌堆積量 10~20mm/21日

●残草量



・残草量全体は無除草区に比べてアイガモロボ区は少ない
・多年生雑草に対しては効果が劣る傾向

出穂期頃（処理区）